

# 「新産業創造・成長」きょうとチャレンジ

|                          |   |
|--------------------------|---|
| <b>基本方針</b>              | 企業のスタートアップから成長、継承まで、イノベーションが起り続ける最適な事業環境の創造を京都から進める   |
| <b>到達目標</b><br>(数値目標の候補) | <ul style="list-style-type: none"> <li>■開業率を●%にアップさせる<br/>(2016年：4.3%)</li> <li>■従業者一人当たりの付加価値額（製造業）を●千円に増加させる<br/>(2016年：14,551千円)</li> <li>■新たに海外展開に取り組んだ企業数を●社に増加させる<br/>(2018年：10社（海外ビジネスセンターを通じた）)</li> <li>■農林水産業の産出額を●億円に増加させる<br/>(2017年：803億円)</li> </ul>  |
| <b>主な重点・新規方策</b>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>起業するなら京都・プロジェクト</b><br/>                     ▶ スタートアップ企業が単独では実現困難なビジネスアイデアを実現するアクセラレーションプログラムの取組（世界中の有能な人材が京都に3ヶ月程度滞在し、ピッチ会やアイデアソンの実施により投資を集める）を推進し、世界中から有能な人材や企業が集う仕組みをつくりまします。<br/>                     ▶ 多様なニーズに対応したインキュベート施設を供給します。<br/>                     ▶ 創業支援、経営革新、販路開拓など、中小企業応援センターでトータルサポートします。<br/>                     ▶ 高校生を対象にした「ベンチャー講座」を開設します。</li> <li>■<b>京都VR・AR拠点</b><br/>                     今後、産業・教育分野において需要拡大が見込まれるVR・AR技術等について、企業活動の積極的な支援や「京都VR・AR拠点」の形成を行います。</li> <li>■<b>シェアリングエコノミー促進プロジェクト</b><br/>                     音楽等のサービスから自動車、衣服など、物の利用サービスへと広がりつつある、サブスクリプション(定額) ビジネス分野も見据えて、地域資源を生かした京都独自のビジネス展開を推進します。</li> <li>■<b>ミニMICE誘致促進プロジェクト</b><br/>                     学会等大規模なものだけでなく、会議や招聘旅行等小規模なものや、農家民宿の活用等地域資源を活用した多様なMICEを京都府域へ誘致します。</li> <li>■<b>環境イノベーション創出プロジェクト</b><br/>                     I o E (Internet of Energy) を利用したエネルギー需給の最適化や、産業・家庭における再生可能エネルギー由来水素の利用促進を図るとともに、気候変動に適応するための新たなビジネスを育成し、環境・経済・社会の好循環を生み出す取組を進めます。</li> <li>■<b>オール京都「高度人材育成プログラム」</b><br/>                     新卒者から管理職、経営者までシームレスな研修をオール京都体制で実施するとともに、中小企業大学校と連携し、高度人材を育成します。</li> <li>■<b>産学連携型学習「京都『結(ゆい)』コンソーシアム(仮称)」</b><br/>                     実社会という生きた教材から答えのない問いに挑む「課題解決型学習」等の機会の充実に向けて、企業や大学等とともに構成するコンソーシアムにより官民一体の教育を進めます。</li> <li>■<b>MaaS・α促進プロジェクト</b><br/>                     ▶ MaaS (Mobility as a Service) など、新たなモビリティサービスの導入により、利用者ニーズに即したシームレスな移動を生み出すとともに、持続可能な地域交通の確立をめざします。<br/>                     ▶ クラウドサービスの新たな展開について「Mobility(交通利用のスマート化)」だけでなく、「Communication(テレビ・Web会議)」や「Factory(工場)」などのあらゆる分野においても、こうしたサービスを活用し、新たなビジネスを創出します。</li> <li>■<b>スマートアグリ・イノベーションセンター</b><br/>                     地域の実情に応じてAIやIoTによるセンシングデータに基づく農業、漁業、養殖業及び家畜の生産管理や、森林の境界情報及び木材情報の見える化等の取組を本格化させるとともに、ロボットを活用した生産活動の自動化を進めます。</li> </ul> |

